

2018.1
第83号

ひの長寿の友

滋賀県蒲生郡日野町河原1-1
日野町勤労福祉会館内
【発行】
日野町老人クラブ連合会
【責任者】
橋元敏孝



迎春

老人クラブのあり方を考える年に

副会長 田中嘉晃



新年あけましておめでとうございます。皆様にはご家族おそろいでよき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、かつては地域の高齢者の交流の場として発展した老人クラブも全国的に会員数が減少しています。日野町においても例外ではありません。なぜ老人クラブの加入者が減少していくのでしょうか。新年にあたり、今一度老人クラブのあり方、方向性を考えてみたいと思います。減少している理由の主なもの、

- 一、労働人口の減少により六十五歳以上の就労者が増え、勤めのため入会を控えていること。
- 二、趣味の仲間や気の合う仲間との交流の場が増え、その仲間と食事や旅行、ゴルフ等を楽しみたいと考える人が多くなってきたこと。
- 三、ライフスタイルの個人化により、地域との関わりや自治会活動を煩わしいと考える人が増えてきたこと。

四、自分はまだ老人ではないと思う人が増えていること。
五、老人会に入ると役員が回ってくるのでイヤ等々理由は色々あると思われる。更に、今後高齢社会は益々進み、老人だけの世帯が多くなり、近隣者同志で支え合わなければ安心・安全な生活が送れなくなるとも言われています。これらの対応の多くは老人会が行う必要があります。

このため老人会地区役員の負担を軽減することが急務の状況です。町老ク連の行事や町の動員要請等は極力減らしていかなければならぬと考えています。退会されている地区も復帰していただき、一緒にこれからの老人クラブのあり方を考える年になることを願っています。

上三十坪長寿会

県老ク連会長表彰受賞

去る十一月十八日に開催された平成二十九年度滋賀県老人クラブ大会において、上三十坪長寿会が日頃の活動が認められ優良クラブとして県会長表彰を受賞されました。おめでとうございます。今後も益々活動を深められ、地域の交流や仲間の輪を広げられますようご期待いたします。

世代をつなぐ地域づくり

日野町長 藤澤直広



明けまして
おめでとうご
ざいます。

会員の皆さま

まにはそれぞ
れお元気に輝

かしい新年をお迎えになられたことと心よりお喜び申しあげます。さて、日野町の高齢化率（六十五歳以上人口比率）は年々上昇し二十九%となりました。また、平均寿命は男性八十一歳、

女性八十六歳となっております。六十歳定年退職後も二十年以上、元気に暮らすことが課題になります。そのような中日野町では、町民運動会や文化祭をはじめ各地区公民館の活動を中心にして、地域ごとの活動が活き活きと進められています。子どもたちから高齢者の皆さままでみんながお互いに協力して同じ目標に向かって活動することは、本当に素晴らしいことです。豊かになった

生活の中で、私たちが忘れかけていた大切なものがそこにあるのではないのでしょうか。

人が生きていくうえで、家庭・学校・職場・地域社会などあらゆる場面で、居場所や役割があり認められる存在であることがうれしいことであり、そこそが生きがいを感じるものだと思います。皆さまの豊かな知識と経験をお借りしながらまちづくりに努めたいと考えておりますので、ご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

今、「立憲主義」を守り憲法を暮らしに活かすことが求められています。戦前、国民の自由が抑制され軍国主義の道を歩んだ反省から日本国憲法が生まれ、自由と平和を愛する文化国家として国際社会に復帰しました。そして皆さまの力で激動の時代を乗り越え、今の日本を築いてきていただきました。

引き続き平和な時代を続けることが大切です。すべての人々が安心して暮らせる社会を実現するために力を合わせましょう。

支え合いの地域づくり日本一を目指して

日野町社会福祉協議会会長 平尾義明



新年あけまして
おめでとう
ございます。

会員の皆さま

まには輝かし
い新春をお迎

えのこととお慶び申し上げます。さて、滋賀県に新しく嬉しい日本一が加わりました。

東京大学と米国ワシントン大学などの共同研究によると、滋賀県民の平均寿命は八十四・七歳、

健康で自立した生活を過ごせる健康寿命も七十五・三歳で、いづれも都道府県中トップとなったそうです。

また、日本人全体の平均寿命と健康寿命はそれぞれ八十三・二歳と七十三・九歳ですから、滋賀県民は日本人全体よりも一・五歳長生きで、一・四歳も長く元気だということになります。

一方で、病気になる要因は、食習慣や喫煙など生活習慣に関

連することが最も高く、次いで高血圧や高コレステロールなどのメタボリック症候群関連と言われています。やはり、健康のもとには、規則正しい「生活」と「食事」が大切なのかもしれません。

加えて、住み慣れた地域で長く元気に過ごし続けるためにも、生きがい・やりがいを持つて地域活動に参加していくことが大切ではないでしょうか。そうすることにより支え合いの地域づくりにつながっていくものと考

えます。会員の皆さまの豊かな人生経験

は、地域社会の宝であり、私ども社会福祉協議会としても、地域の皆様のご理解とお力添えを得ながら、地域福祉活動に取り組んでいきますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

会員の皆さまにおかれましても、健康には充分にご留意いただき、新しい年がより佳き年になりますよう心よりご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



こんな事業に 取り組みました

平成二十九年度も事業計画に基づき色々な事業に取り組み、多くの皆さんにご参加いただきました。主な結果をご報告します。

ゲートボール大会

十月十一日(水)内池公園多目的グラウンドで、十六チーム約百十名の参加でゲートボール大会が開催されました。

雲一つない青空の元、参加者は最高年齢九十二歳のお二人もお元気にプレーされ、日頃の練習の成果を発揮し、和気あいあいと競技を楽しめました。成績は次のとおりです。

- 優勝 日野混成チーム
- 準優勝 北脇チーム
- 第三位 サンライズチーム
- 敢闘賞 東桜チーム



グラウンドゴルフ大会

十一月二十二日(水)大谷公園

グラウンドゴルフ場で、百二十六名の参加を得て、グラウンドゴルフ大会が開催されました。



小春日和の中、和やかな雰囲気与健康づくりと会員同志の親睦を深められ、楽しくプレーされていました。成績は次のとおりです。

- 優勝 竹村 庄一さん(西大路)
- 準優勝 市岡 栄一さん(西大路)
- 第三位 福澤富士夫さん(南比都佐)

シルバー大学

今年度も四回のシルバー大学が開催されました。第一回は「日本文化と西洋文化を楽しむ一日」と題し、分林道治氏による能と鈴木舞バイオリンリサイタル、第二回は「笑いと健康」と題して、県健康医療福祉部次長の角野文彦氏の講演、第三回は、「菊地流魅力的な人生のすすめ」と題し、菊地幸夫弁護士講演、第四回は「特殊詐欺の現状と

対策」と題し、県警察本部防犯アドバイザー山本芳則氏の講演と県警音楽隊による演奏が披露されました。延べ千八百人が参加され、三回以上の参加者四百二十三人に修了証書が贈呈されました。

女性部施設訪問と研修

十一月三十日(木)に女性部二十名の皆さんが白寿荘と中部清掃センタークリーンわたむきを訪問見学され、白寿荘では皆さんから寄付いただいたタオルを寄贈し、木のぬくもりを感じる新しい施設を見学されました。

クリーンわたむきでは、ごみの環境問題を研修し、終了後、近江日野ふるさと館で説明を受け、伝統料理を味わいながら交流を深められました。



ニュースポーツ講習会

十二月四日(月)大谷体育館で、約七十名の参加をいただき、ノルディックウォーキングの講習と体力測定が行われました。自分の体力を確認し、健康づくりについて考える良い機会となりました。

地区の活動だより

グラウンドゴルフや研修で健康・教養・親睦と

(大窪二区寿会 藤居 雅夫)

大窪二区寿会の会則に「本会は会員の健康、教養、社会奉仕に関する諸活動を行い、老人福祉の向上を目指し、会員相互の親睦を図る事をもって目的とする」とあります。

毎年五月末か六月初旬に総会を開き、計画を立て活動をしていきます。役場の出前講座で健康管理、維持を教わり、社会奉仕活動は、春と秋の年二回、日枝神社(南山王宮)清掃を行い、毎週水曜日と日曜日には、グラウンドゴルフで体を動かし、秋には県内各地へ、教養と親睦を兼ね、研修に赴いています。



和気あいあいに グラウンドゴルフ大会を開催

(東桜谷地区 厳島 彦五郎)

昨年のグラウンドゴルフ大会は雨で開催できませんでした。今年秋晴れの良いお天気に恵まれ開催することができました。町の大会等で若干参加者が減りましたが、元のグラウンドゴルフ場のA・Bコースをお借りし多数の参加をえて開催しました。この大会は「スポーツを通じて心身の健康増進に努めるとともに、会員相互間の親睦を深め生活にいきがいを持つこと」の目的と、併せて町大会への参加者の予選会を兼ね、スポーツ活動として、レクリエーション部の大き



な事業でもあります。和気あいあいの内に競技も終わり、無事ケガ人もなく終了できたことを役員一同大変喜んでおります。来年もここで元気に皆様とお出逢いできることを祈念して解散しました。

西桜谷老人会活動の現状

(西桜谷地区 川原 慎二)

西桜谷地区では三百七十一人の会員が主として地区内五つの大字単位で活動を行っており、各集落では、総会・親睦旅行・懇親会事業の他、清掃・除草等の奉仕作業・神社行事・納涼祭等の集落行事への協力等、多岐にわたる事業を実施されております。このため西桜谷地区老ク連は、会員の多様な要望には、できる限り他団体と協調して取り組むことにより応えていく方向で、独自の事業を極力減らし、日野町・日野町老ク連及び西桜谷公民館等が実施される各種の事業を紹介して各会員の事情に合わせた出席を要請しています。例えば、西桜谷公民館関係の事業としては、「今日行く講座」「敬老会」「里山ウォーキング」「運動会」「文化祭」「町史を学ぶ会」等があり、地区老ク連として運営に参加したり後援したりしながら会員の参加を促しています。特に文化祭では、その期間中の十一月四日に地区老ク連主催で

グラウンドゴルフ大会を開催し、会員相互の親睦と体力向上を図るとともに文化祭の盛り上がりにも寄与しました。

しかしながら、近年、西桜谷地区では、集落の役員に就任したり、現役就労中の会員が増加する一方、対象年齢に達しても入会されない人が増加傾向にあり、老人会活動に参加できる会員が一部の人に限定されるようになってきました。また、当地区では免除会員の占める比率が十八・一%を占め、町内で最も高くなっています。

こうした状況の中で、これからも会員の皆様に満足いただける老人会活動はどうあるべきかについて、みんなで知恵を絞っていく時期が来ているような気がします。

児童・生徒の安全を願って

(豊田三区長寿会 滝口 俊博)

豊田三区は高齢化率四十三%の地域です。長寿会の会員は六十八名で地域の美化や会員の親睦に取り組んでいます。

昨年五月頃、小学校から生徒の下校時に変質者が出て困っているところ長会に相談があり、地区の役員会で協議の結果、下校時間は三時から四時なので長寿会にお願ひできないか打診がありました。臨時総会の結果、会員の若年層でスクールガードを



やることになり七月からはじめました。会員が毎日交代で目印の黄帽子を着用し子どもを迎えます。会員の健康も考え二人態勢で行っています。

「おかえり」と声をかけると小さな声で「ただいま」と返事してくれます。

高学年の女子ははずかしそうにうつむいて聞こえないような小声で返事をくれます。一年たった今は生徒の方から大きな声で「ただいま」と言ってくれます。幸いにして事故もなくなりましたが、別の地区では不審者が車中から声をかけてくる事例もあるようです。会員の負担や学校との連携など課題も見え検討を必要としています。

西大路高齢者学級 研修旅行に参加して

(西大路地区 坂田 安弘)

さわやかな好日に高齢者学級日帰り研修に初参加。行先は駿河湾と久能山東照宮でした。早朝集合だが、老人クラブの面々は元氣一杯、特に女性方は益々おしゃやれで若々しく活き活きとして居る。バスに乗り込み一路新名神湾岸道の車窓を楽しみながら、和氣あいあいと和やかな雰囲気です。話がはずむ内に静岡へ到着。一同レストランで郷土の四季の小皿御膳を舌つづみ、一杯いいただきながら至福の時間を過ごす。愈々昼から本番の日本平から久能山へロープウェイで断崖絶壁の谷を下に、遠くには



駿河湾を眺めながら久能山東照宮へ到着。晩年駿河城で逝去された徳川家康公が『自分の遺骸は久能山へ埋葬するように』と遺命され二代目将軍秀忠公が建立された。長い長い石段を登ると荘厳な極彩色ときらびやかな金箔で、匠の技術が結集された「権現造」の国宝の拜殿に見とれ手を合わせる。さらに厳しい石段を上ると家康公のお墓があり、静寂な森の中幻想的で不思議な気分になります。思わず合掌でした。老いた皆さんそれぞれ長い石段を一步一步手を取り合いい、励まし合いながら、当時の権力の偉大さを拝見し貴重な体験ができ、皆さん満足され帰路につきました。楽しいひととき感謝しています。

先人の労苦を思い 蚊屋野森と清掃活動

(鎌掛地区 篠村 久嗣)

鎌掛の玄関口に蚊屋野森があります。鎌掛を訪ねてこられた方が何区に行かれるかで右に行か、左に行くかの分かれ道で、鎌掛の大きな目印の森です。また、散歩の時の休憩する公園でもあります。

ここに大きな石碑と銅像、そして小さな社があります。この大きな石碑は、明治時代に鎌掛山の領有権を鎌掛村と大窪町、上野田村が争った鎌掛山事件の



経過と、この事件解決に努力された功労者を顕彰するために、大正十三年に建立された石碑です。その石碑の前にある銅像は、その鎌掛山事件解決の功労者で初代村長の野崎忠左衛門氏の銅像です。この歴史ある蚊屋野森の清掃を鎌掛老人会会員が毎月一回各区持ち回りで清掃活動を行っています。これからは先人の労苦を忘れること無く、清掃奉仕活動を続けていきたいと思えます。

農村広場の清掃活動や 子ども達と一緒に ラジオ体操も

(下駒月老人クラブ 蒲生 清)

下駒月老人クラブでは、六月と十月の年二回農村広場の草刈り、

剪定、草引き作業を実施しています。農村広場には遊具もあり、子ども達の遊び場として、また、グラウンドゴルフ場としても利用されています。そして、今年も夏休みのラジオ体操では、子ども達が少なくなつた今日、下駒月老人クラブでは毎回二十人以上の会員も一緒にラジオ体操に参加し盛り上げています。朝の固い身体を動かす事は非常に良い事だと思えます。今後は農村広場の清掃作業だけでなく、草刈り等の維持管理ができません。下駒月区、下駒月老人クラブも、前向きに考えていかなければならない問題かと思つて居ます。そして下駒月に生まれて良かったと、皆が言える村になる事を夢みている今日この頃です。



俳句

到来の老舗の地酒年酒とす

小流れの土手の起伏に土筆摘む

早梅の香り路地まで風と来し

垣根越し遠目に一輪寒梅に

賜れる句座今日二十日正月に

搾乳のホース脈打つ初明り

孫に来る平仮名ばかりの年賀状

揃ひ舞ふ獅子の眼光天に向く

境内の焚火明かりに獅子の舞ふ

仏前に明かり灯して去年今年

御手洗の竹杓青く初詣

落葉して空もいっそう高く見え

双の手にお椀のぬくみ雑煮食ふ

朱の光る春日大社に初詣

山口 初美

皆川 規子

中澤 嘉子

増田 正子

川原 きぬ子

西河 滝三

倉橋 満

増田 淑子

岡崎 直次

竹村 真次

儀儀 静枝

藤田 久子

福本 俊子

岡本 茶男



編集後記

新年おめでとうございます。ご家族おそろいで素晴らしい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。このたび「ひの長寿の友」第八十三号を発行するにあたり、皆様より各地区での老人会活動の様子や俳句等をご投稿いただき、それらのご紹介を兼ねて掲載をさせていただきました。

今後とも日野町老人クラブ連合会の諸活動に積極的にご協力をいただきますようお願いいたします。



いを申しあげ、併せて寒さ厳しい折柄、健康にはご留意をいただきますようお願いを申し上げます。

(門坂 剛)

編集委員会
 社会部長
 委員長
 委員長

高橋 幸彦
 久村 弘
 守村 由
 山田 正勝
 西河 剛
 門坂 剛
 岡崎 直
 岡崎 直
 富田 正

老人クラブ3つの保険〈掛金・補償内容〉

傷害保険

自分がケガをした時の保険です。病気および他人に与えたケガは対象外です。

- ① 対象：老人クラブ会員に限ります。年齢制限はなく、いつでも加入できます。(1人1口加入)ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体傷害保険です。
- ② 保険期間：掛金払込日の翌月1日から1年間
- ③ 補償範囲・掛金タイプ
「24時間型(掛金3タイプ)」と「活動型(掛金3タイプ)」の6タイプから選択してください。

年間の掛金	24時間型		活動型	
	10,000円	5,000円	2,000円	1,000円
死亡保険金	170万円	85万円	170万円	85万円
後遺障害保険金	170万円	85万円	170万円	85万円
入院保険金(120日)	4,000円	2,000円	4,000円	2,000円
入院保険金(120日)	2,280円	1,140円	2,280円	1,140円
入院保険金(120日)	6,280円	3,140円	6,280円	3,140円
療養費(120日)	2,600円	1,300円	2,600円	1,300円
療養費(120日)	1,700円	850円	1,700円	850円
療養費(120日)	4,300円	2,150円	4,300円	2,150円

※1 賠償金額は、加入時ご自身の年齢・性別・職業・所得・家族構成により異なります。詳しくは、各クラブの保険担当者に確認ください。

※2 賠償金額は、加入時ご自身の年齢・性別・職業・所得・家族構成により異なります。詳しくは、各クラブの保険担当者に確認ください。

※3 賠償金額は、加入時ご自身の年齢・性別・職業・所得・家族構成により異なります。詳しくは、各クラブの保険担当者に確認ください。

賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険。自分のケガは対象になりません。

- ① 対象：老人クラブ(全員加入が条件となります)
- ② 保険期間：毎年10月から1年間
- ③ 掛金：1人年額100円(最低引受保険料3,000円)
- ④ 補償：支払限度額1億円

公益財団法人全国老人クラブ連合会 保険係
 TEL.03-3597-8770 FAX.03-3597-8767

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 ミズビル1階102号
 (取扱代理店) 有楽会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769
 (受取事務所) 東京海上日動火災保険株式会社